

令和4年度 第2回 遊佐町総合教育会議 議事録

会議日時 令和5年2月13日(月曜日) 午後2時30分
会議場所 遊佐町防災センター 2階会議室
開会時刻 午後2時27分
閉会時刻 午後3時40分
出席者 ・構成員 遊佐町長 時田 博機
(教育委員会) 教育長 土門 敦、教育長職務代理者 石川 茂稔、
委員 石山 幸子、委員 齊藤 敦子
(欠席 委員 土門 宏典)
・説明調整員 総務課長 佐藤 光弥、企画課長 渡会 和裕
・事務局 教育課長 菅原 三恵子
教育課長補佐兼文化係長 渋谷 志保
総務学事係長 菅原 潤
学校指導係長兼指導主事 鈴木 純平
社会教育係長 斎藤 浩一

協議事項 (1) 新校開校準備委員会の進捗状況について
(2) 令和5年度教育委員会重点事業について
(3) その他
・遊佐町立遊佐小学校開校式について

協議内容の概要

教育課長 ご案内の時間より、数分早いところなのですが、出席頂ける予定の方々、全員揃いましたので、よろしいでしょうか? はい。
はい。それでは、ただいまより、令和4年度 第2回 遊佐町総合教育会議を開催致します。会議終了時刻は午後3時30分の予定とさせていただきます。
初めに時田町長よりご挨拶をお願い致します。

町長 皆さん、こんにちは。
今年、令和4年度の第2回の遊佐町総合教育会議、大変ご苦労様でございます。
令和5年度は、小学校5校が一つに統合して、新小学校が開校するという形で、教育委員会の皆さんには本当に大変なお力添えもあって、何とか、あと1ヵ月少しというところまで来ました。開校に当たっては、開校準備委員会の果たす役割、非常に大きかったと思います。それぞれのセクションからいろいろな代表を出して頂いて、議論して、ここまで来たということ、準備に当たられた皆さんにも、敬意を表したいものだと思っています。
ただ、コミュニティ・スクールというんでしょうか、コミュニティ・スクールが今度、遊佐町では1小1中になる訳ですから、そのコミュニティ・スクールのあり方と地域との調整が、どうも、お正月の各まち協回ってみますと、あり方について、いろいろな提言が頂きましたし、過日の青少年育成協議会でも、まち協の会長さん達

が、かなり意気込んで意見を交換していました。非常にありがたく感じました。やっぱり地域と共にある学校という形を、思いをみんな寄せて頂いたのかな、と思っています。

ただ、行政的に見れば、学校、基本を考えると、『How to Learn』、どうやったら勉強するかを教える場所という形に位置付けてみます時に、やっぱり教師の皆さんに、かなりやっぱり、これからまた期待するところが多いのかな、という思いを致します。私は小学校のPTA会長も、確か4年させて頂きましたが、「あなた方の教え方で、それは点数なんか、10点、15点すぐ上がるんだよ」という、先生方に言うと、非常にプレッシャーに思われた感じがありましたが、そんな先生方に、非常にプレッシャーかけながら、一生懸命頑張ってもらったおかげで、非常に子ども達が伸び伸び羽ばたいてくれたというような記憶もありますので、どのように先生達からやっぱり頑張ってもらえるか、その環境作りはやっぱり教育委員会にお願いするしかないのかな、と思っています。

何はともあれ、開校まで、本当、準備怠りなく進めるようにお願いしまして、総合教育会議に当たっての挨拶とします。

大変ご苦労様でございます。よろしく申し上げます。

教育課長 どうもありがとうございました。

協議に入ります前に、名簿の説明をさせていただきます。

次第の2ページ目をご覧ください。本会議の構成員は、法律の規定どおり、町長と教育委員となっております。要綱を4ページ目に入れておりますが、首長部局との連携も考慮しまして、この第4条第2項に規定する、説明調整員として総務課長、企画課長にも出席をお願いしております。

それでは、協議に進ませて頂きます。座長につきましては、本要綱の第3条「会議は、町長が招集し、その座長となる」とございますので、時田町長にお願い致します。よろしく申し上げます。

町長 はい。それでは、次第に従いまして、暫時の間、座長を務めさせていただきます。

3.の協議に入ります。(1)の『新校開校準備委員会の進捗状況について』を、事務局より説明を求めます。よろしく申し上げます。

菅原係長 はい。それでは、私の方から資料1と2と、ご説明させていただきます。

資料1になります。『小学校統合に関する概要について』という部分で、これまでの取り組み等、時系列で挙げさせて頂いておりました。統合に至る背景、少子化ということや、そういった部分での教育環境、学校経営などへの及ぼす影響等、懸念しまして、クラス替えのできる2~3学級規模となるように、ということで、開校時期は、申し上げるまでないですが、令和5年4月1日として、今、準備委員会を設置して進めさせて頂いておりました。2の、平成30年の2月、『町立学校適正整備審議会に諮問』ということで、年度で言えば、平成29年度から、という形になりますね。そういった経過を踏まえて、現在の遊佐小学校の場所へ、というような形で進めさせて頂いて、令和元年7月に第1回の理事会、その後、総会、各部会、ということで、順次進めて来たところがございます。校名は「遊佐小学校」ということで、スクールカラーは「青色」ということと、令和2年9月の第4回理事会では、

増築校舎の関係ですね。ここに至るまでは、山形市のみはらしの丘小学校に視察に行かれたり、ということで、対応して来られたところです。あと合わせて、校歌制定委員会、校歌の製作等、取り組んで来たところでございます。2ページ目になりますが、校章の関係とか、体操着の決定、令和4年2月28日、令和3年度、昨年、ちょうど1年前ぐらい前ですけども、小学校の増築校舎が完成して、令和4年度においても、今の遊佐小学校で、その場所を使わせて頂いて、という形で。そういった中で、ちょっと余談になるんですけども、ネットワーク環境とか含めて、やっぱり既存の物ではちょっと足りなくてですね、そういった改修も合わせて、今年度させて頂いたりしたので、使ってもらって逆に良かったかな、と。これが来年度の春先だったら、ちょっと大変だったかな、ということもあったかな、と思ってるということです。あとスクールカラー、具体的には「Sea blue」、教育後援会・同窓会の規約、PTAのあり方含めて、方向性を承認頂いたところでございます。合わせて、今年度入りましてから、放課後の居場所づくりの関係、スクールバスの運行方針、ということで、承認頂いております。で、見守り隊、校旗の購入、小学校のランドデザイン、教育計画(案)ということで、確認をさせて来たところです。

令和4年10月15日から12月にかけて、まず各小学校にて、閉校式ということで開催させて頂いております。それから、今年、令和5年入りましてから、1月31日から今日の夜ですね、遊佐小学校が最後になるんですが、新小学校の保護者説明会ということで、保護者の皆様方の不安を少しでも、取り除きたいという部分とか、学校の概要等含めて、スクールバスの利用とか、学級経営方針、PTA活動等について、ご説明させて頂いております。中でも、放課後児童クラブの関係、そこに向かうスクールバスの手段とか、普段のスクールバスに関してのご質問等、頂いております。後で、また取りまとめさせて頂いて、対応出来るものは丁寧に進めて行きたい、という風に思っております。どうしても、4月になってから見えてくるものもあるのかもしれませんが、現時点でそういう課題に見えるものについては、少しでもちょっと取り除いて行きたいな、という形で、今、残りの1ヵ月半ぐらいですけども、進めて行きたいと考えております。

ページめくって頂いて3ページになりますけれども、一番上、字が小さいんですけども、令和5年、455名と、1月末現在。酒田市の、いわゆるマンモス校より若干多い、という人数となっておりますが、どうしても親御さんの転勤等含めて、若干前後は出て来るかな、という風に思っています。で、5年度に関しましては、新1年生が2クラス、あとは3クラスの学年という形になっております。ここは以上です。4ページの進捗状況と、あと校章等、という形になっております。

合わせて5ページ以降になりますけれども、令和2年度から、いわゆるハード面の部分というような形、進めて行く中での、2年度は主に設計委託というような形で進めておりました。で、令和3年度、6ページになりますけれども、先ほど申し上げました、増築校舎の関係、こちらが2億円近くということで、一番大きな金額になってます。それから、給食室も食数500食を賄うというような形で、そういった改修も含めて、準備を進めて来たところです。あとは、空き教室になってる所のエアコン設置とか。令和4年度、今年度ですけども、元の、閉校となる学校の物も使いながらの、給食室の改修工事、あと、職員も教職員おおよそ50名程度という形になるので、いわゆる事務的スペースがちょっと足りないということで、第2職員室と。あと、空きスペースに教具室ということで、整備させて頂いております。そ

れから、境田集落の所と言いますか、プロパンガス屋さんの所から学校の敷地に入る町道になりますけども、バスが交差するというので、若干狭いということで、その町道の拡幅工事ということで、そちらの方については、12月末に完成・終了しております。あとは、大きなところでは、新たに土地を購入させて頂いた、プールの脇の駐車場の整備工事がまだ残っているところです。

先ほどの委員会でも、少し触れさせて頂きましたが、今後、2年度を掛けて、トイレの洋式化ですね、5年度が低学年、6年度が中学年ということで、それで一応メドが付くという形で、財政当局の方ともお話し合いさせて頂きながら、進めておりました。合わせて、特段、予定はしてなかったんですけども、特別支援を要するお子さんが増えるということで、ちょっと教室の整備が必要になったりですね、合わせて防犯対策として、防犯カメラの整備等も今年度中、対応する予定でございます。ざっくりこのような形で、図面等も付けさせて頂いておりますが、工事の方含めて、まず何とか順調に進んで、担当の方も頑張ってもらってまして、やっていると

ころです。
資料2は何度かご提示させて頂いた部分、ございますけれども、**総務部会**となるところでの、先ほどの給食室の改修、あと駐車場の整備の部分、3月末までと。特に給食室の関係は、3月17日まで給食の提供がございまして、それが終わってから、物の移動等という形になってきます。4月入ってから、給食を作るための動線の確認とか含めて、少し動かなきゃならないということも予定しております。あと、一番下の方で、広報活動といった部分では、「教育委員会だより」等での情報提供、あと、企画課長も見えられておりますが、閉校式の特集等の広報での3ヵ月号に渡ってですね。それからあと、開校に向けてということで、保護者の関心が、遊佐以外になりますけども、スクールバス関係のような記事を3月号、4月号で開校に向けた部分、というような形で、ちょっと情報提供させて頂きたいな、と思っております。

繰り返しますが、説明会等で頂いた意見等、1つ1つちょっと確認しながら、進めて行きたいという形で、今、考えてるところです。ちょっと回りくどくなってしまうんですが、開校準備委員会の進捗状況ということでは、以上でございます。

町長 はい。これについては、教育委員会会議では、了承という形でよろしいですか。じゃあ総務課長、企画課長、これ、チェックしなければならないものがありますか。ないですよ。

総務課長 はい。
企画課長

町長 はい。ないと思うんです。
それぞれ、やっぱりその組織・組織で積み重ねてきたこと、それについてはよろしいとしましょう。ということで、了解ということで、よろしく願います。

教育課長 ありがとうございます。

教育長 ありがとうございます。

町長 統合準備委員会は本当にご苦労かけたと思います。いろんな形でね。ありとあらゆるものに、みんな、会議に相談して乗せてとか、それぞれの部会長からね、役員の方、皆さん、本当に大きな力を借りたと思うので、感謝を申し上げたいと思います。

次に進みたいと思います。(2)『令和5年度教育委員会重点事業について』を、学校指導係から総務学事、社会教育、文化、これ、一括して、続けてお願いしたいのでしょうか？

鈴木係長 はい。学校指導係、よろしくお願ひします。令和5年度主な重点事業が〇で、その具体的な取り組みという所で→になっております。

まず、『乳幼児期の教育と子育て支援の推進』という所で、4つ挙げさせて頂いてます。それぞれ細かく見ていきますと、このようになりますが、特徴的な所としては、幼保小連絡会という所で、今までは5つの小学校で、それぞれこう、幼稚園・保育園からの引き継ぎ、となっていたんですが、今度1つの小学校になるという所で、一番子ども達の様子が分かっている、幼稚園・保育園の先生達から、クラス分けまで一緒に加わってもらっているという風な取り組みです。

2の『コミュニティ・スクールの推進』という所で、先ほど町長からも話ありましたが、新たなコミュニティ・スクールの形を作らなければいけない、という所で、社会教育アドバイザーを中心に、今年度のうちからずっと調整を図っておりました、今、まず方向性が見えてきて、それを承認頂いている所です。来年度はまずそれを行ってみて、いろいろ見えてくる課題などを、また解決しながら、またそれを新たな形に落とし込む、ということが必要になって来ると思ひます。それと同時に、地域学校協働活動の方も、新たな形を作らなきゃいけないということで、同じように、こちらの方は学校教育コーディネーターの方が中心となって、まず同じように、「どうしたらいいんだろう？」という風な所で動いていたのですが、これも来年度やってみて、また調整を図っていくこととなります。

あとは、3の『よりよい生き方を育む教育の推進』という所で、予算を取って頂いて、『Q-U』という、子ども達の心の状態を計るようなテストを、お金をまず頂いて、あと、「子どもの声調査」というのは町独自のものなのですが、年2回、本来であれば、小学校6年生と中学校3年生の「全国学力学習状況調査」というもので、子どもの状況を計るアンケートでしか、計れないようなものなのですが、遊佐町、これを6年位ずっと続けていまして、全学年の経年変化も見られるような形になっているので、これをずっと継続していきたいな、と考へている所です。

あと、その下の宿泊体験事業ですが、委員会での話だと、校長会での話の中では、やはりこう、「とても大事な活動だ、事業だ」ということで、4泊5日というところをまず、最終的にはやっぱりそこに戻して行きたいんだけど、来年度、遊佐小学校が立ち上げて、すごく現場が忙しいことが予想されるということで、まずここで1泊2日、2泊3日となっておりますが、最終的にはやはり、『ふるさと愛』ということをして小学校の方で押し出していますので、それを支援出来るように、ということで、やはり4泊5日。ただ、前と同じ、ではなくて、新たな形で、現場の先生達からも「ちょっと忙しい」という声も上がっていますので、この休んでいる間に、新たな形で何か支援出来ないかな、という風に考へていきたいな、と思っている所です。

教育素材発掘研修会というのも、遊佐町が今度、学びのフィールドが大きくなるので、その小学校だけの視点じゃなくて、『遊佐』という大きな視点で捉えていかなければ、ということで、小学校の校長先生、中学校の校長先生からも、「とても大事な取り組みだ」という風に言って頂いていますので、高校の先生なども参加して頂いてる取り組みで、まず遊佐町でどんなものが学べるのか、というのを改めて、感じられるような研修会にしていきたいと思っている所です。

削ることの出来るもの、出来ないものがあると思うのですが、せっかく5つの小学校から1つの小学校になるので、出来るだけ削れる所もないかな、という所で、次の「早起き・朝ごはん・躍動・早寝」運動の取り組みの1つで、学校保健協議会ってあったのですが、これ何か、制約がすごく大きかったので、ここを少し取り組みやすいような形に、来年度は切り替えて、という風に考えて、ちょっと新たな形で進めたいと考えている所です。

あとは、今年度も、統合に向けた、その下ですが、『学校の相談支援体制の充実』というところで、今年度、予算をたくさん取って頂いて、それもギリギリの状態までアドバイザーの先生、臨床心理士の先生達が学校に入って下さってます。それと言うのも、やはり保護者の方々が、不安がすごく、統合に向けて大きかったみたいで、我が子が学習に付いていけるか、という辺りで相談がすごく多くて、来年度もやはり、統合したら同じような保護者の不安、子ども達の、やっぱり凸凹がすごくある子達もいる中で、その子ども達の学びの場、どのように整えていけばいいのか、という専門的な見地からアドバイス頂きたいな、という所で、やはり来年度も同様に予算を確保している所です。あと、そこの下のスクールソーシャルワーカーの先生も、県からも予算頂きながら、という予定です。あと、友遊スクールの方でも、今年度そこに通ったことで、不登校傾向だったお子さんが元気を取り戻して、学校の方に復帰していった、ということもありますので、こちらの方も継続する予定であります。

もう一面ご覧下さい。「生徒指導提要」というものが、今年度変わりました、いろいろ子ども達の周りにある法律なども変わってきているということで、大きな変化が学校現場にあったので、そのための、先生達の知識の更新も、ということもありまして、高橋 典久先生という方をお招きして、教職員全体研究会というものを開催する予定です。

3つ目ですが、『幼保小中一貫した教育の推進』という所で、統合するっていうメリットとデメリットがあるとしたら、やはり1つの小学校・1つの中学校というところは、いろんな取り組みを統一して行っていけるというメリットなのかな、という所で、昨年度まであったいろいろな会議、事務局をいくつかの小学校にお願いしていたものを一緒にして、事務局を教育委員会の方に置いて、「幼保小中一貫教育推進委員会」という所を来年度より立ち上げて、まずどのようなことが出来るのかな、という所を話し合う所から、来年度スタートですが、そのメリットである所、強みである所を活かしたような取り組みにしていければな、という風にスタートする所です。

下で言うと、今年度、先ほど話しましたが、特別支援教育アドバイザーの先生達が間に入って、保護者と学校の間に入って、各種検査をしたりして医療に繋いだり、専門的な学校の教育相談に繋いで下さったりして、ここら辺にある、切れ目ない支援というところが、今すごく、教育現場で大事にされているところなんです、そ

の辺りの知識がすごく向上したな、と。そういう、中学校の方では、来年度、いくつかある、大事にする視点の1つに、『特別支援』というものを挙げて下さってるので、今、今週も遊佐中学校で、来年度に向けてっていう研修、もう自主的に行ってくれているのですが、まずその辺りに専門的な見地から、アドバイザーの先生、臨床心理士の先生達が研修会を年間3度とかって行ってるということです。あと、いろんな子ども達がいて、手と目が足りないというところで、1つの小学校になるのですが、来年度も支援員の先生を同じ数で確保して頂いて、まず多くの目で温かく見守っていてくれれば、ということで、支援員を14名配置して頂いております。あと、子どものために、という所で、先生達を楽にする、というためでは決してなくて、効率化したり、あと部活動を少し余裕持って、時間、他のものに使えるような、というところで、今、事務効率化、休日部活動の地域移行化ということで、校務支援システムを取り入れたり、部活動指導員の任用を行ったり、あとクラブ化に向けて、社会教育係の方と一緒に連携しながら、各団体の方々と調整に入って、という風なところで、今、動いている所です。来年度、この辺りも少し力を入れていかなければいけない所かな、と思っております。

『変化に対応する力を育む教育の推進』という所で、ALTの安定的な運用というところで、今年度、いろいろな学校から「とても良かった」という声を頂いていて、遊佐町で何年前か前、進めて来た業務委託というところが、今年度はその形が実を結んだのかな、というところで、来年度も同じように、学校の現場からそういう声上がるように、「同じ人で」とお願いしてる所です。小学校の方、特に、ALTが5つの小学校をずっと回ってたんですが、来年度は1つの小学校になるということで、その辺の連携も取りやすくなるのかな、と思っております。

デジタル教科書の方は、現場の声を聞いて、数学・算数も申し込めたのですが、遊佐町は「算数・数学要らない」ということでしたので、「活用しきれない」「今はまず…」という所で、英語は5・6年以上、全学年デジタル教科書を活用する予定です。遊佐の学校にICT支援員を配置して頂いて、「本当に助かっている」という声が現場から聞こえております。酒田地区だと、このようにこう、頻繁に支援員が訪れて、メンテナンスだけじゃなくて、「教育活動にこのような有効な手立てがあるよ」と紹介したり、という部分、なかなか出来ないのですが、遊佐の場合は、ICT支援員を雇用して、来年度は1小1中なので、より今年度よりも頻度が高く、様々な知識の共有が出来るという所で、強みになるのかな、と感じた所です。

学校指導係、まず以上です。

町長 はい。これ、1個ずつやった方が良いですか？全部通して進めた方が良いか、どっちが良いですか？

教育課長 全体通してお願いします。

町長 通して？説明聞いてから？はい。ということであれば、次、総務学事。

菅原係長 はい。じゃあ、私の方から。学校指導係の部分と重なる部分ございますので、かいつまんでお話をさせて頂ければと思います。

先ほどの新校開校の部分でお話しましたが、遊佐小学校、トイレ改修工事等、低

学年・中学年という形、載せさせて頂いております。その上、真ん中ほど、No.140ですが、実は中学校も開校から30年も経ってまして、老朽化してる部分とか、不具合出てる部分、出てきております。まず、そこについて、図書室のLED化と、武道館の屋根改修工事等々、ということで、そこも年次計画を以って対応していくこととなります。No.254のスクールバス運行管理ということで、路線が今、今度12路線に増えるという形になります。運転手の確保も含めてですが、あと、乗るまで、乗った後の見守り、見守り隊だけじゃなくて、保護者の方からも、可能な限りということで。11月の試乗練習の際も、その時は遊佐小に来るだけ、という形でしたけれども、各バス停には保護者の方、見守り隊の方も含めて、イメージとしては、登校班の場所に行くのが、バス停に行くような形になるのかもしれませんが、含めて、ちょっと降りてから帰りの部分も、ちょっと課題はあるんですけども、見守り隊の方も含めながら、ただ基本は、保護者の方も意識を持って頂いて、という所を促しながらしていきたいという風に思ってます。あと、一番下の『元気な学校づくり推進事業』ということで、100万が0となっておりますが、別途、別事業で予算は組んでおります。

あと、ページめくって頂いて、小学校整備事業と、いわゆる統合に向けた部分ということでは終わってる訳ですが、先ほど申した通り、トイレの改修等という形ではまた出てきます。それから、あと、遊佐高校の就学支援事業、就学支援金、それから運転免許の取得支援とか、通学タクシー、JRの定期半額等、含めて継続していく予定でございます。後で社会教育の方からもお話あるかもしれませんが、中学校の部活動指導員という形で、11名、まず予算化、4年度と同じく、させて頂いております。部活のクラブ化とか、また含めて、今、ちょっとここも大きな曲がり角というか、変換期には来てる訳ですので、中学校の方と含めて、相談していく必要があるのかな、と思ってます。あと、『学習支援塾推進事業』という形で、中学校3年生対象の部分も引き続きということで考えております。

その他ということで、『学校給食費高騰対策事業』ということで、現状の遊佐町の中では、地元農家さん等とかご協力頂きながら、現在の給食費単価で、質を落とすことなく、賄っています。総務課長からも財政ヒアリングの時に、「質は落ちてないんでしょうね？」というご指導を頂きながら、3回出るゼリーが2回になったとか、そういうことはありませんので。一応、まずそういった形で進めてはおります。値上げの予定も考えておりません。ただ、どうしても、というような状況になった時に、保護者からの負担は、まず来年度は頂かないで、小学校1食10円・中学校1食20円の助成を、時期が来たら、出来るようにという形で、用意させて頂くものです。また、今年度、コロナ交付金等を活用して、いわゆる半額助成とか、そういった部分も、国の制度とか、国・県の情報とか含めた中で、そういう方向に後々持って行ければな、とは思っているんですが、それはまた今後、というような形です。そういった部分もございますので、その辺は注意深く対応して行きたいと思っております。総務学事は以上でございます。

町長 はい、ありがとうございました。次に移ります。社会教育係。

斎藤係長 はい。それでは、『社会教育の重点事項と対応について』というのをご覧頂きたいと思います。一番最初に、『生涯学習推進計画の推進』ということで、①で後期

計画の推進を掲載しております。第2次遊佐町教育振興基本計画の後期計画が策定されましたので、それに基づきまして、来年度からの5年間の後期計画を、今、策定している最中でございます。

④の家庭・学校・地域の支援ということで、学校指導係の方からもありました通り、コミュニティ・スクールの推進の方、行っていきたくて思っております。今度、小学校1校になる訳ですので、地域とも連携しながら、また、学校指導係とも連携しながら、より良い活動をしていきたくて思っております。同じく、④の中で、放課後子ども教室の開設及びスタッフの育成支援、各子ども教室との調整を掲げさせて頂いております。これまでは、有人の、人がいる施設での開設、ということで活動してきましたけども、これからは空き校舎となる藤崎小学校、高瀬小学校、吹浦小学校での開設となりまして、常時人がいる施設ではなく、無人の施設での開設となります。スタッフの皆さんから、鍵や警備保障の解除等して頂きながら、開設となりますので、打ち合わせ等行いながら、スムーズな開設が出来るように行っていきたくて思っております。

⑤として、地域教育力の向上で、若者リーダーの育成支援、こちらの方、少年町長・少年議会、中高生ボランティア活動の育成・支援を挙げさせて頂いております。今年度は、マスコミ等にも取り上げて頂きまして、少年議会関係の視察が、例年になく多く、少年議会を全国にPR出来たのかな、と思っております。第20期という節目の年でもありましたので、来年度以降も、重要事業の1つとして、取り組んで行けたら、と思っております。

⑥で芸術文化活動の推進を掲げさせて頂いております。新型コロナで、なかなかホールの方での催し物が減っていた状況だったんですけども、今年度におきましては、だいぶホールでの開催も戻って来たのかな、と思っております。ただ、ホールの使用に当たっては、コロナウイルスの対策の換気基準というものがありまして、その基準を守るために、ホールの定員を半分に、貸出を行って来ました。今年の5月には、新型コロナウイルスも5類に移行するというので、今後どのような方針が出るかというのがあるんですけども、その基準に則りながら、なるべく多くの方々から、町の芸術鑑賞機会を提供して、芸術に触れて頂ければと思っております。今後の示される基準に準じながら、検討を行っていきたくて思っております。

続きまして、(2)『スポーツ振興の推進』ということで、すみません、①スポーツ推進計画の中間見直しとなっておりますけども、中間見直しではなく、推進ということに訂正の方、お願いしたいと思います。生涯学習推進計画と同様に、後期計画の方、策定しまして、令和5年度から5年間の計画を進めていきたくて思っております。②の生涯スポーツ活動の推進のところ、ツーデーマーチ等、載せさせて頂きました。令和5年度のツーデーマーチにつきましては、通常開催で行いたいと、今の所検討しております。教育長とも、今年度は東松山のスリーデーマーチ等も視察に行きまして、向こうの方でもある程度通常ベースの開催規模に戻ってきているのかな、と思つたので、来年度につきましては、第29回ということで、ツーデーマーチを開催します。通常ベースで開催しまして、再来年度に第30回、町の合併70周年等の記念事業等も含めまして、盛大に開催出来れば、と思つて計画していきたくて思っております。

③スポーツ環境の充実のところ、土日の中学校の部活動地域移行検討会を開催、裏面の方になります、を載せております。今、学校指導係ですとか、総務学事係か

らもありましたけども、1月末に町でも地域移行に向けての検討会を立ち上げまして、今後も会議等、開催していくことにしております。町としましては、令和7年の4月に完全実施を目指しますけども、早く取り組める部活動があれば、その前から取り組んで頂けるように進めて行きたいと思っております。これから関係機関とも連絡・調整を図りながら、スムーズな移行が出来るように行きたいと思っておりますし、スポーツだけでなく、文化活動の種目についても一緒に取り組んで行きたいと思っております。

(4)の『事務改善・体制整備』について、地域コーディネーターの人材育成・支援ということで、研修会等、載せております。近年、協働のまちづくり研修会につきましては、新型コロナということもありまして、コミュニティ・スクール推進会議と同時開催の方、行ってきました。来年度あたり、5類に移行するということもありますし、社会教育アドバイザーともお話をさせて頂きながら、協働のまちづくり研修会単独で開催したいと検討しております。企画係の方にはまだちょっと言っていないんですけども、企画係とも連携を取りまして、地域のまちづくりセンターの協会長さんからも、協働のまちづくりということで、関わって頂いておりますので、企画係とタイアップしながら、進めて行きたいと思っております。

(5)『社会教育施設の整備』につきましては、今年度、町民体育館のLEDの工事が3月末で終了する予定となっております。生涯学習センターも今年度で50年という、結構、建築年数経ってる建物となっております。体育館の方も、50年近くの建物等もありますので、毎年様々な修繕等が出ているような状況で、事案が発生した場合に、緊急度合いに応じて対応しているというような状況となっております。今後はその社会教育施設のあり方について、課長・教育長とも話を進めて行きながら、今後の方向性についても協議をしていきたいと思っております。以上となります。

町長 はい、ありがとうございます。それでは、続きまして、文化係。

渋谷補佐 はい。文化係 渋谷です。よろしく申し上げます。

それでは、『令和5年度 文化係 主要事業について』の資料を基に説明させて頂きます。文化係、令和5年度のメインの事業は何と言っても、「史跡小山崎遺跡の整備」であると認識しております。この小山崎の関係、(1)から次のページの(4)まで掲げておりますが、現在、(1)ですが、現在、史跡小山崎遺跡の整備基本計画の策定に向けて、取り組んでおる途中であります。で、これは、令和3年度末に策定しました、保存活用計画を踏まえまして、具体的な整備に関する内容について定める、それを今年度と来年度で行う、ということで向かっております。その策定委員会につきましては、今年度、年3回、8月と11月に既に開催した2回と、今月24日に開催する、その3回の予定であります。そして、委員としては、委員長に岡村道雄先生、渋谷 孝雄副委員長、県立うきたむ風土記の丘考古資料館の館長さん、これは保存活用計画の策定委員会と同じ、委員長・副委員長の選任になりますが、会議重ねまして、また必要に応じまして、植物考古学の専門であります、東北大学の名誉教授 鈴木先生、それから森づくりに関しましては、前、県職員でいらっしやっした梅津さんからも協力を頂いて、進めております。また、その計画策定、5年度で策定する予定ですが、(2)のガイダンス機能についてですが、小山崎遺跡のガイダンス施設につきましては、吹浦小学校を活用させて頂いて、当初は文化庁の施設整

備の補助金を活用することとして、こちらも向かうつもりでございましたが、小山崎遺跡とその吹浦小との距離がちょっと離れている関係が、その補助の採択とならない見込みになりまして、その話が調査官から受けましたので、改めて整備しまして、小山崎のガイダンスの機能に加えて、歴史民俗学習館に充実した民具・農具、今も展示されておりますが、こちらも含めた展示、そして今、旧西遊佐小学校の方に埋蔵文化財調査室ありますが、こちらの事務室と言いますか、調査室の方も移転しまして、調査機能、調査・研究の拠点という部分でも、移転をして総合的な、資料館のような整備に向かって行く、その考えでおります。そして、その財源としましては、2ページ(3)に記載しておりますが、現在のところは「デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)」、こちらの、1/2補助の活用が出来ないか、ということで考えております。ただ、これは町の総合戦略、そして地域再生計画の策定という、その関わりがございますので、企画課の方には丁寧にちょっと相談、協議をさせて頂く考えでもおります。歴史民俗学習館の民具・農具を吹浦小の方への展示ということに向けての当たりまして、非常に、建物にある民具・農具というのは、揃っていて、充実しているという、お話を頂いております。文化財の登録の方に向けてはどうか、という話は以前から出ていたようであります。ただ、4千点は超えてるというのは、今、点数も定かではなく、目録の整理自体からスタートしなければいけないんですけれども、その整理も同時に行いながら、文化財登録に向けた動きもするのか、というところ、ありますが、学習館の展示物について、一定整理に向けて5年度は動きたいと思っております。

2つ目としましては、『史跡鳥海山と高速道路(遊佐象瀉道路)に関して』であります。令和8年度に供用開始予定とされております、高速の遊佐象瀉道路であります。史跡鳥海山の指定された範囲の中を通過する、そういったことから、文化庁、酒田河川国道事務所、県の文化財サイド、そして町の文化係、という所による協議で、今進められてきております。道路計画としては、ボックスカルバートによって、掘削も最小限として、現在の史跡の範囲、それから追加指定を検討している旧登拝道、そこも保護して頂く、そういう設計の中で進められております。ただ、その史跡改変のための、文化庁に対する手続きとしては、「現状変更許可」を頂くために進めて行く、という認識で関係者は協議を進めておりますが、詳細設計で詳細な数量・構造、決定してから行うということで以っての、来年度のスケジュールを2ページの方に記載しております。非常にタイトでありまして、国の、国と言っても文化庁の審議会で、順調に審議が通ってのスケジュールを書いております。そして、おおよその見込みでは、8月から10月の間で、その史跡の範囲内を発掘調査を行う必要が出て来ると。これは、史跡鳥海山の管理団体が町になっておりますので、町が調査の主体となって行うということが必要になってきております。高速に関しては、まず、情報としてはこのような形です。

次に『民俗芸能』ですが、全国神楽継承・振興協議会の設立に関してであります。国の重要無形民俗文化財の指定を受けました、神楽の保存団体、これが会員となっております、全国の神楽を保存継承していくための組織であります。今年度、設立総会を開催致しました。令和8年度を目標年として、ユネスコの無形文化遺産登録を目指しております。町、文化係も、こちらの方、サポートさせて頂く、という風に思っています。

次に、『遊佐町史』についてであります。令和3年度から繰越の予算の対応をし

てまいりました、町史の下巻であります、まずは4年度事業として、発刊できる見込みです。本来は、当初のスケジュールで行けば、1月下旬に全体全ての校了というところ終えて、進めたかったんですが、やっぱりちょっと遅れてまして、今月、2月に校了する、というところで、進めております。県内で唯一、通史として完成していない所でした。これが、下巻の発刊によりまして、解消されるということになります。はい。で、今後は、上巻含めまして、やはりこの町史を活用しての、町民の方を対象にした講座というところを開催しまして、遊佐について学んで行く、そういう機会を持って行ければ、とこちらの方では思っております。

最後になりますが、『文化財の保存・活用』というところで、平成31年に、指定文化財の補助金の交付事業の要綱、作成しまして、指定文化財ということではありますが、管理・修理に対して、補助をする事業、要綱を作って始めております。まだまだ、ちょっと周知至っておりませんので、例えば文化財保護審議委員の方とも、文化財の保護・活用という面をもう少し、ちょっとご協力頂く場面、作りながら、またこの事業の周知を図っていければ、と思っております。以上になります。

町長 はい、ありがとうございました。今、学校指導係、そして総務学事係、社会教育係、文化係、それぞれ説明を頂きました。

教育委員会議では、課題としても出てるものは出たことと思いますが、この場で、また思い出して、「これはどうなりましたか?」「これはどうなりましたか?」というのでも良いです。質問、ご意見等あれば、伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず、志保さん。よく下巻までやっとなどり着くこと出来て、山形県でたった1団体がこれ出来てなかったのが。でも、ところで、私、思うんです、名前。『上巻』『下巻』だと、もう完結するんですね。そしたら、その後ろのはどうなるんでしょう。ね、名前の付け方ね。

町長 完結させられないんですね、町は続いているんですから。…という発想はダメなんでしょうか?そういう声は出ませんでしたか?教育委員会会議で。

石川委員 そこまで思っていなかったですね。

町長 すみません、そういう変な考えがあるものですから、遊佐町は続いていきますから。

はい。とりあえず通過点なんだ、と思ってるんです。『下巻』だから、もう終わってしまう、なんていうことは無いのだからね。まず、本当に素晴らしいことです。とりあえず、その『下巻』という名前を付けて、それに向かってきたわけですが、何年間のことしかないんですね、21世紀の、20年分ちょっと。まず、ご苦労様。

小野寺先生に「ご苦労様」と言っておいて下さい。他、ありませんか?

特別、教育委員会議で無かったなら、それはそれとして良いですし、実は学校の施設の老朽化、特に遊佐中学校がだいぶたってますから、これ当然、起きて来るのは当たり前です。ただ、町として、私の考えで行くと、義務教育整備基金というのが、あれ、3億くらいあるんじゃないかなかったですか?まだ。

あれをやっぱり使いながら、やっていくしかないのかな、と。そうすると、幸いね、菅原課長が財政の時、3億円近く、貯めてくれてたのが、今、それが恩恵に預かれる、という形でありますので。やっぱり中学校、古くなったやつ直す時に、やっぱりそういう基金、義務教育整備基金を、今、あと、小学校は1つになったから、しっかり今、遊佐小1校に絞る形しか出来なくなるから、これはしっかりやっていくしかないという思いをしています。決してお金が無いのではないから、「無い」なんて言わなくて良いから、義務教育整備基金、あれだけ持ってるなんてね、すごいですね。はい。それ使って、十分対応できるのでは。

教育課長 来年度、長寿命化計画の、また新たな5ヵ年、中間実施計画の方を策定すべく、調査・計画の方を、来年度の予算を盛りせて頂きましたので。

町長 はい、そうですね。あと、公の施設の、基金ね、基金。去年一年で1億7千万円ほど。また今、実は年度末に向けてね、もう総務課長の腕次第だから、期待したいですが。公の施設等、「等」だから、いろいろと使えるという形ですので、これで何とかしていきたいな、と。老朽化してくる施設は絶対あります。それから、社会福祉協議会が新たなものを作るんだ、っていう話も、いよいよ議論しているみたいですね。そこら辺も含めて、やっぱり町としては、常にそういう、ハードの整備というのは課題だと思うので、それについてはしっかり対応していけるような形でありたいと思っています。

社会教育係は、ツデー、通常開催で出来るような形は素晴らしいと思うし、それから学事も、学校スタートでたぶん大変でしょうね。いざ始まってみたら、「ああでなかった」「こうでなかった」というのは、たぶん出てくるのだと思う。こんなの、だけど、なってみないと分からないですからね。

ちょうど30年前、平成5年で新中学校スタートしてる経験があるから、それも参考に。

教育長 その時、私、いました。

町長 そうですね。そこはアドバイザーとか、まだ課題は、その部活動の、中学校の、地域移行とかって、そういうのだから、そういう新しい課題も起きてますからね。まあ、吹浦で、「あと統合したら、鳥海太鼓どうなるんですか？」とか、いろいろ、昨日言われたりしてました。要望はいっぱいあると思います。要望はいっぱい出て来る、これは当然のこと。けども、やっぱり、何か四大祭も、中学校に1つやって。

教育課長 そうですね、戴邦碑祭。

町長 戴邦碑祭やって、あと、3つは小学校のうちに、という形で進むということになったという。それはそれとしてね、知恵出しながら、やるしかないなと思って。よろしくお願ひしたいと思います。議論が収まれば、これでこの項は閉じたいと思いますが、了解でよろしゅうござ

いでしょうか？

出席者 はい。

町長 はい、ありがとうございます。そして、実は(3)その他の『町立遊佐小学校開校式について』の議題に移ります。よろしくお願いします。

菅原係長 はい。じゃあ、資料3ということで、議題と言いますか、ご報告と言いますか、そういった形で。日程につきましては、令和5年4月5日(水)10時～10時50分となっておりますが、1時間程度かな、という風に思っています。児童は通常通り登校ということで、今の遊佐小学校体育館、2年生から6年生まで、という形でございます。入学式につきましては、中程にも少し書かせて頂いておりますが、4月11日(火)という形で予定しています。

あと、流れ等につきましては、藤崎小学校の開校の際の時の部分、参考にしたりしながら、また、学校の方等含めて調整しながら、進めて行きたいと思っております。

閉校式では校旗は返納頂きましたけども、今度は校旗を町長から授与して頂く、ということで、校旗も出来て来てますので。

日程、繰り返しさせていただきます。4月5日と、入学式、11日という形で、こういったご来賓の関係等、校長会等も含めて、詰めさせて頂くということで。(3)その他につきましては、以上でございます。

町長 この準備委員会を閉じて、終わったら、あとは新しい組織が、それぞれの役割を担って頂くということ、これだけはっきり確認させておいて下さい。それぞれ、PTA、同窓会、後援会とか、いろんな形のものが、新しい組織でスタートするのだから、確認しておいて下さい。それだけです。

町長 じゃあ、開校式、いいでしょうか？

出席者 はい。

町長 了解を頂きました。以上で、協議は終了させていただきます。ありがとうございました。

教育長 ありがとうございました。

教育課長 町長、ご進行、ありがとうございました。
また、慎重審議、ありがとうございました。
それでは、以上を持ちまして、令和4年度第2回遊佐町総合教育会議の方を閉会致します。お疲れ様でした。

出席者 ありがとうございました。